

平成29年 川崎市議会 6月議会 第2回 定例会 ご報告

今、行ってきた自国第一主義や民族至上主義などが世界を席巻し、過剰なポピュリズムは闇となつて世界中に拡がりつつあり、人々は漠然とした、或いは、確たる不安を抱えています。このような時代を背景として、今年、本市は人口150万人を突破し、新たな領域へと進みました。

新議長新正副団長により 第2回川崎市市議会定例会に臨む



上:松原新議長 下:吉沢新団長

認知症対策として

平成27年で約37万人の認知高齢者は、平成37年に約4万3,600人に増加すると代表質問において明らかになりました。様々な観点から質問した所、在宅療養者の家族の不安、負担の軽減や一体的な支援体制の構築が課題と川崎市医師会を始め医療・介護関係団体で構成する川崎市在宅療養推進協議会を通じて、支援体制の構築に取り組んでいる。認知症の早期発見・対応に向けた支援として、DAS事業は来年度から全区で実施する。認知症あんしん生活実践塾を開催するなど、当事者の視点に立った支援強化をしていくの答弁がありました。

待機児童対策

急激な人口増加地域やその付近の主要駅周辺では、地下高層等で保育事業者の参入が控えられ、これらの問題に対してどのような整備を進めているのか、また保育士確保への取り組みを伺いました。保育所の整備では、定員枠の拡大に向け民間事業者活用型整備事業において、保育需要が増大する主要駅周辺など交通利便性が高いエリアを重点整備地区に指定し、鉄道事業者の協力のもと、鉄道用地を活用した整備を積極的に進めている。また今後については新たな人口推計や保育需要の見込みを勘案し進める旨の答弁がありました。

150万人を抱えた川崎市の 将来に向けて

本年4月で、川崎市は人口150万人を突破しました。2030年をピークに約152万人まで増え約158万人となり発表がありました。そこで、何故推計調査の差が出たのか、150万人都市をどのように発信していくか、記念事業の具体的な内容について伺いました。答弁では、平成27年の国勢調査結果において、前回推計を上回らなければ世代を中心とした転入人口が増加して、150万人を突破した今を、これまでの川崎が培ってきた「成長力」と「多様性」を活かし、本市の多彩な魅力を発信していく「記念事業」としては、川崎フロンターレ市制記念試合で150万人都市記念のビッグフラッグや市民祭りにおいてもアーカイブ映像を活用した動画によるPR等を予定している。我々は、人口増は税増につながるが、市内拠点駅周辺は、人口増に耐え得るインフラ整備は充分ではないと考えます。今後必要施策を提案し、実行に移して参ります。



都市農業振興議論を充足

JASE川崎本店における自民党農林部会長、小泉進次郎代議士の講演の意義に沿って、川崎市の農業分野の発展を目的とし「川崎の都市農業を推進する会(会長・石田康博前議長)」を発足。定期的な農業研修会、勉強会を開催し、川崎市の農業分野の課題を行政へと訴え続けています。本定例会では、生産緑地制度の2022年問題(生産緑地指定の告示から30年を迎える)、営農義務が消滅(自治体へ買取し出が可能となり、大量の農地が住宅用地とされる恐れがある)について取り上げ、具体的な対策と関係局に答弁を求めました。関係局からは「新規就農者の増大、6次産業化の推進等に関して取組み、農地の維持・保全を図る。市長からは「都市農地は農業生産だけでなく緑地・環境・防災・教育等の多面的機能を有する貴重な財産として、次世代に残すべきである」と答弁をいただきました。また、我々はいずれ農業体験を行う事で、農業に携わる方々の苦労、悩み、喜び、そして、少しでも理解することが大切であると考えます。本年より農園にて種蒔き定植、収穫等に関して指導を戴きながら進め、層の理解と将来に向けて課題解決に対して望んで参ります。

洪水ハザードマップが改定

水防法改正(自27)に伴い国土交通省より新たな浸水想定区域等が公表され、川崎市においても洪水ハザードマップ(川崎区・幸区)を改定致しました。今回の改定では、多摩川200年に1回程度の確率)と鶴見川(150年に1回程度の確率)の確率を、両河川共に1000年に1回程度発生する可能性のある降雨量を上回る設定に変更し、浸水区域(浸水深・持続時間・家屋浸水想定区域)などを更新・公表してまいります。被害想定の大きい地域へのより一層の周知を問い、町内会・自治会を通じて出前講座の開催等できつかりと対応する旨の答弁がありました。中原区以北のマップについては、来年3月を予定しております。今後も様々な災害にしっかりと備えるよう要請して参ります。

わくわくできる公園整備が 市民の笑顔を作る!!

等々力陸上競技場第2期整備整備の基本方針(案)について伺いました。 Q1 第1期整備でメインスタンドが整備されたが、市民満足度はどのように捉えているのか? A1 470名に対するアンケート調査では、96.4%から好評価を得られた。 Q2 2019年ラグビーワールドカップ、2020東京五輪に対して、キャンプ地誘致を行う際に、競技場にプールがある事が条件とされているが、見解は? A2 今回の増改築案では、既存スタンドの一部を残しての整備である事から、プールの複合化は難しい。最後の質問に対して、改めて質問致しました。 A 等々力緑地は、以前より前向きな答弁でしたが、現在計画されている仮称「多摩川大橋も含めて考えれば、市内外問わずシテセルズの観点からも様々な賑わいを見る公園づくりに求められます。すべり台があるプールを見る等して、市民の皆様が心の底からわくわくするパークマネジメントをしていく必要があると考えます。

平成29年度 自民党市議団の構成

Table listing the members of the Liberal Democratic Party's City Council Group in Kawasaki City, organized by district (川崎区, 幸区, 中原区, 高津区, 宮前区, 多摩区, 麻生区).